

# 行動分析における ペアテストング手法による補完効果



福山大学

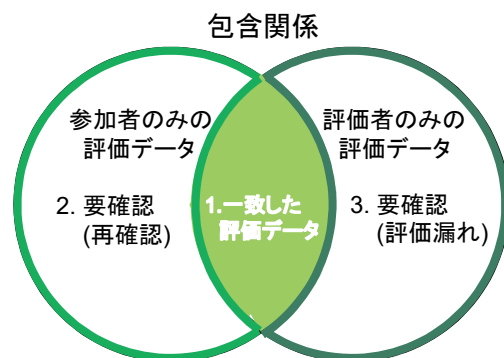
## ペアテストング手法

評価者の観察によって**参加者の評価漏れを補完**する手法

手順1: **記録** 参加者と評価者が2人1組のペアとなって、それぞれが参加者の評価を記録する  
参加者は自身の評価を記録, 評価者は参加者を観察しながら評価を記録する

手順2: **確認** 参加者が自身で記録した評価データと評価者の観察による評価データを確認する

- 1 参加者と評価者の評価が重なっている部分の一致したデータを確認する
- 2 参加者のみの評価部分が参加者自身が正しいか再確認する
- 3 評価者のみの評価部分が参加者の評価漏れではないか確認する
- 4 参加者が手順2で正しいと判断した評価を分析対象としそれ以外を除外する

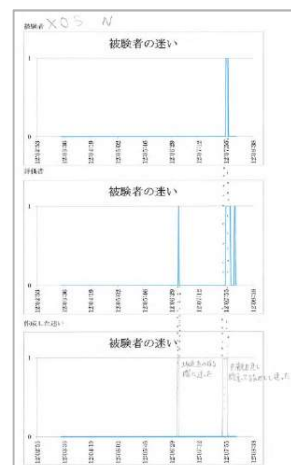


## 行動分析実験への適用

- 参加者10名, 評価者3名
- スタート地点: 広島県福山駅の観光案内所
- ゴール地点: 福寿会館の事務所
- 行動データ記録ツール: HASC Logger
- 迷い時間記録ツール: **迷いボタンツール**
- アンケート: 「迷い時間について確認」

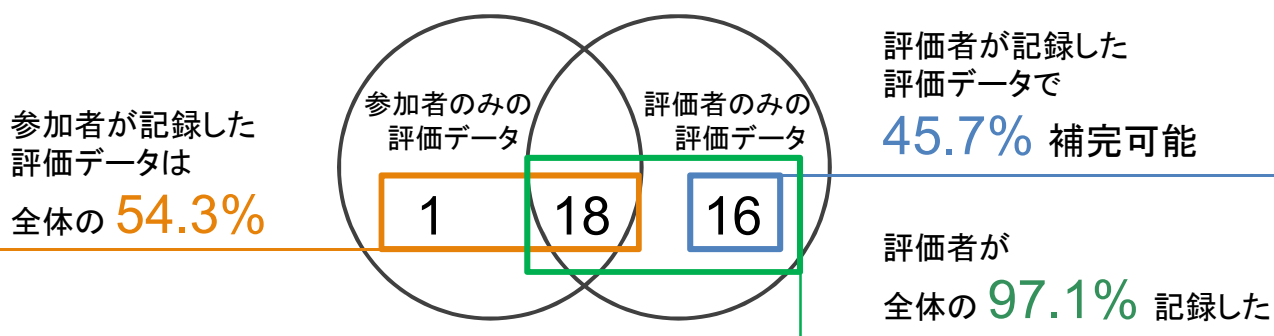


迷いボタン画面



アンケート

分析と評価: ペアテストング手法によって **45.7%** (=16/(1+18+16))が補完可能



## 連絡先

- 川野 由香子 福山大学工学部 t5413008@fukuyama-u.ac.jp
- 中道 上 福山大学工学部 nakamiti@fui.fukuyama-u.ac.jp